

在宅介護実態調査 結果概要

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「第9期守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」に有効な介護サービスの在り方を検討することを目的として実施しました。

(2) 実施概要

調査対象		要支援1・2、要介護1～5の認定を受けている65歳以上の高齢者から無作為に抽出した方
実施方法	郵送調査	郵送配布、郵送回収、期間中に1度礼状兼督促はがきを送付
	聞き取り調査	要介護認定調査員による記入、聞き取り調査方式
実施期間	郵送調査	令和4年12月21日（水）～令和5年1月18日（水）
	聞き取り調査	令和4年12月20日（火）～令和5年1月26日（木）

(3) 配布件数、有効回答件数及び回答率 ※（ ）内は前回調査時

	配布件数	有効回収件数	有効回収率
郵送調査	1,000件（900件）	689件（528件）	68.9%（58.7%）
聞き取り調査	—	30件（199件）※	—

※聞き取り調査の有効回収件数について、新型コロナウイルス感染対策のため認定調査を行わない職権延長が多かったこと等の理由から、前回と比較すると減少している。

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。

2. 結果の概要

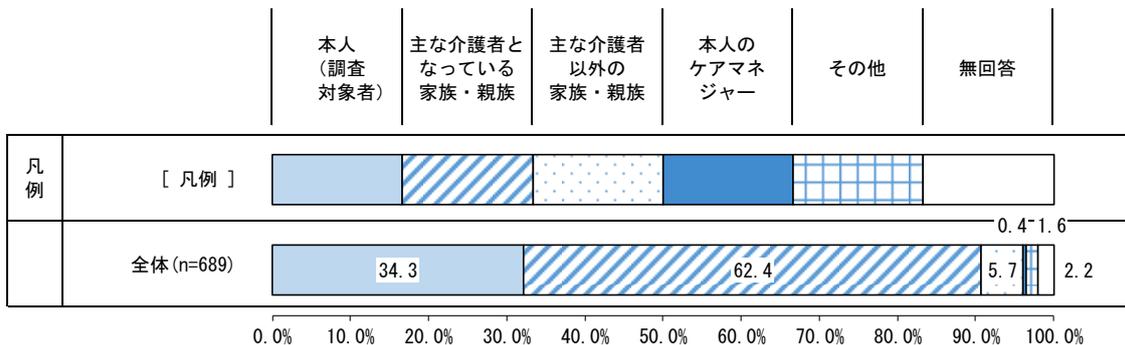
A票（調査対象者について）

施設等への入所・入居を検討している、もしくはすでに申し込みをしている人の合計は31.5%となっている。現在介護保険サービスを利用していない理由では、本人に利用の希望がない、または家族で支えている場合がそれぞれ約2割となっている。

家族や親族から週に1回以上介護を受けている人は61.8%である。

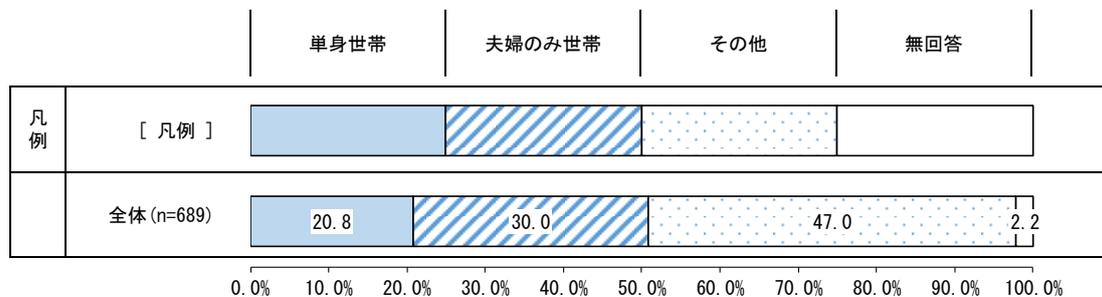
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。

○ 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が62.4%で最も多く、次いで「本人」が34.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.7%となっています。



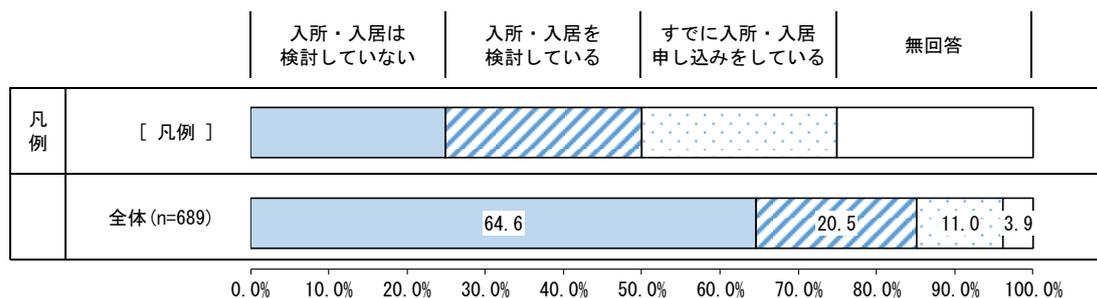
問2 世帯類型について、ご回答ください。

○ 世帯類型について、「その他」が47.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.0%、「単身世帯」が20.8%となっています。
○ 要介護認定を受けている場合でも2割が単身世帯であり、単身世帯への見守り等の支援が必要であると考えられます。



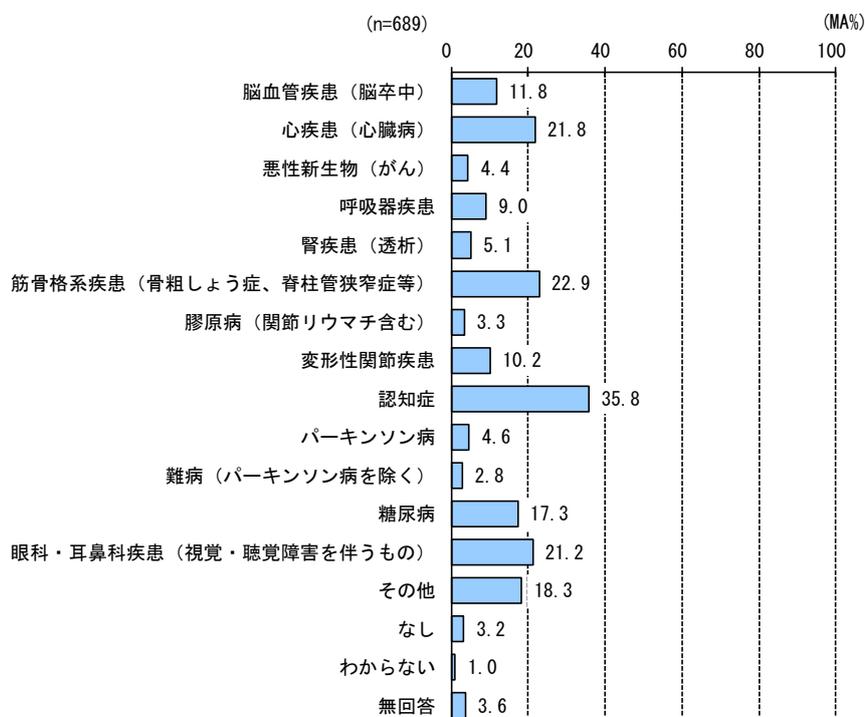
問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

○ 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が64.6%で最も多く、次いで「入居・入所を検討している」が20.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.0%となっています。



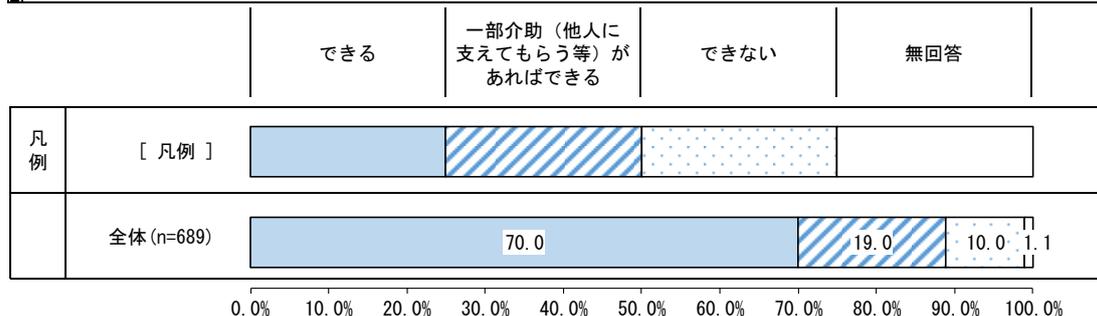
問4 ご本人（調査対象者）様が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。

○ 調査対象者の傷病について、「認知症」が35.8%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患」が22.9%、「心疾患」が21.8%となっています。



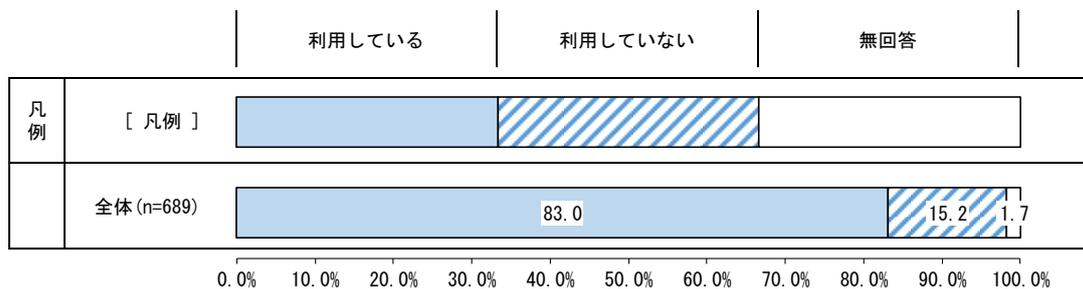
問5 ご本人（調査対象者）様は、自分ひとりで排泄ができますか。

○ 排泄の可否について、「できる」が70.0%で最も多く、次いで「一部介助があればできる」が19.0%、「できない」が10.0%となっています。



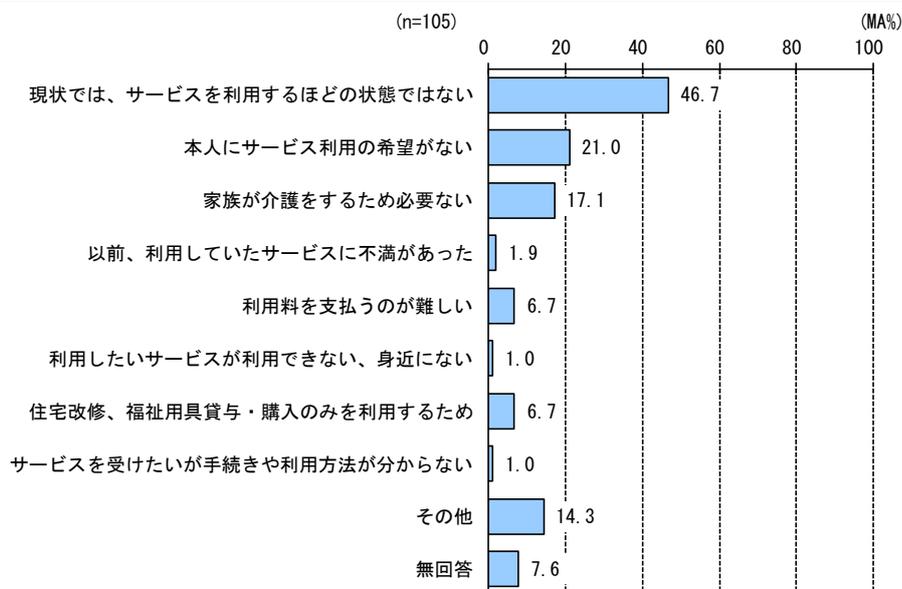
問6 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。

○ 介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が 83.0%、「利用していない」が 15.2%となっています。



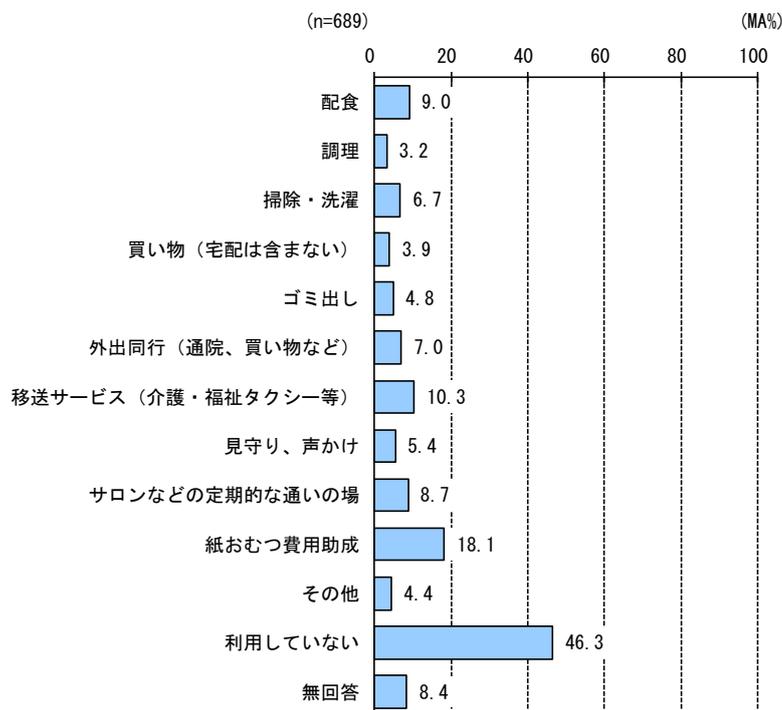
問7 問6で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

○ 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 46.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 21.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 17.1%となっています。



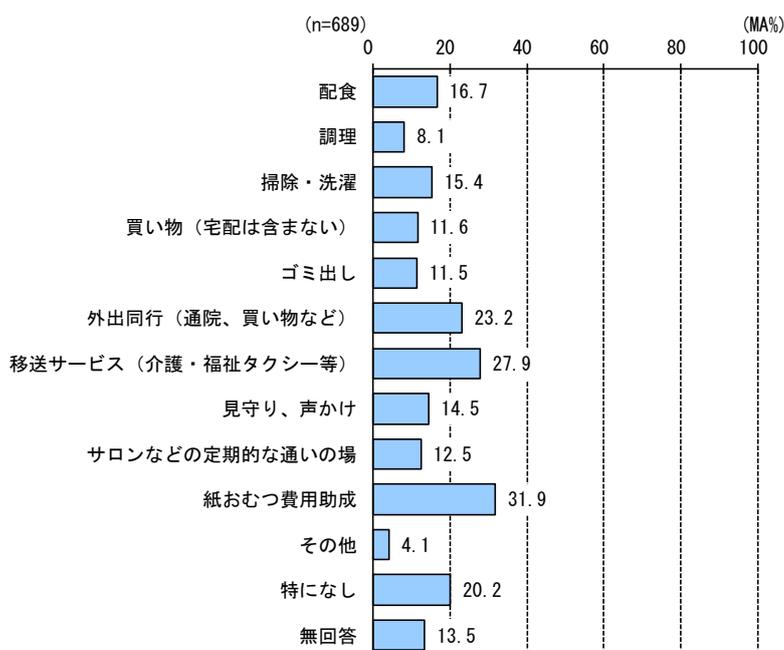
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。

○ 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が46.3%で最も多くなっています。利用のあるサービスの中では、「紙おむつ費用助成」が18.1%で最も多く、次いで「移送サービス」が10.3%、「配食」が9.0%となっています。



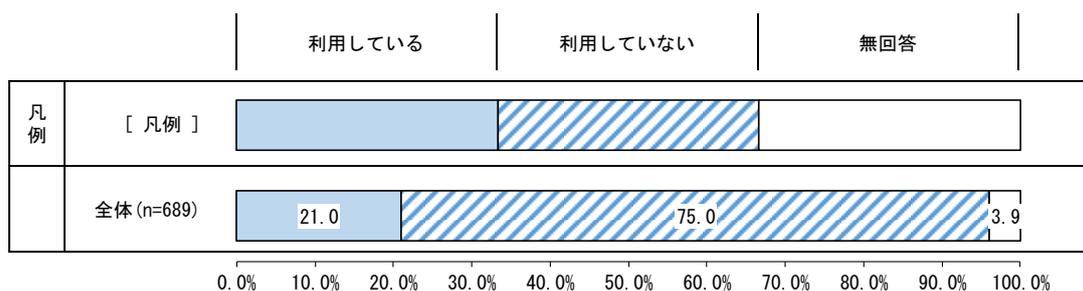
問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

○ 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「紙おむつ費用助成」が31.9%で最も多く、次いで「移送サービス」が27.9%、「外出同行」が23.2%となっています。



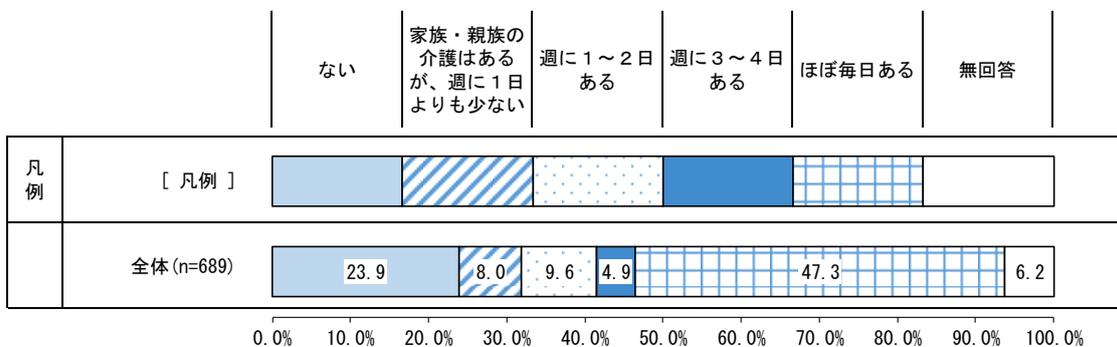
問10 ご本人（調査対象者）様は、現在、訪問診療を利用していますか。

○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」は 21.0%、「利用していない」は 75.0%となっています。



問11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

○ 家族や親族からの介護について、「ほぼ毎日ある」が 47.3%で最も多く、次いで「ない」が 23.9%、「週に1～2日ある」が 9.6%となっています。
 ○ 家族・親族からの介護がある人は、69.8%となっています。



B票（主な介護者について）

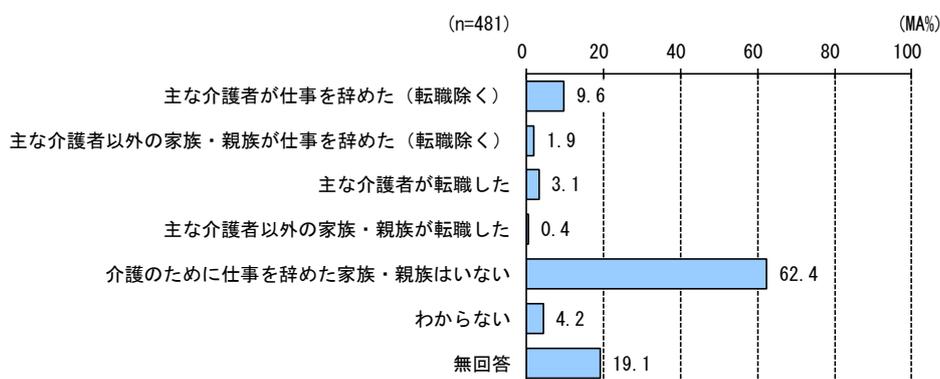
介護を理由として離職・転職があったのは15.0%である。仕事と介護の両立のために効果のある支援では、介護休業や介護休暇、労働時間の調整等の制度や、それらの制度を利用しやすい職場づくりの回答が多い

主な介護者の年齢では、39.2%が70歳以上であり、守山市においても老々介護の現状が多いとわかる。

主な介護者が不安に感じる介護等では、日中や夜間の排泄、認知症状への対応の回答が多い。

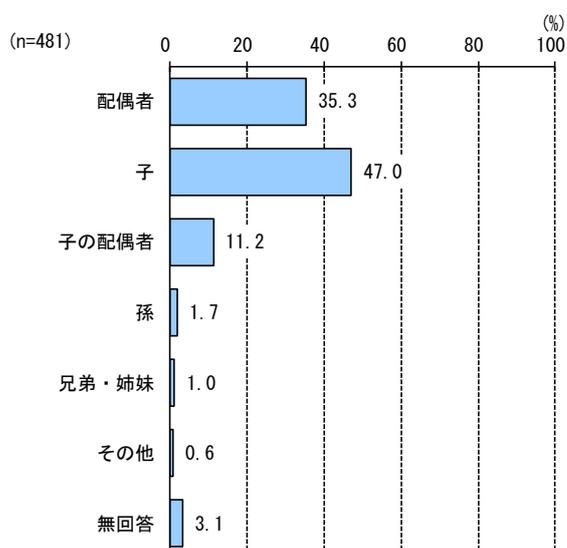
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。

- 介護離職の状況について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.4%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた」が9.6%、「主な介護者が転職した」が3.1%となっています。
- 介護のために離職・転職があったのは、15.0%となっています。



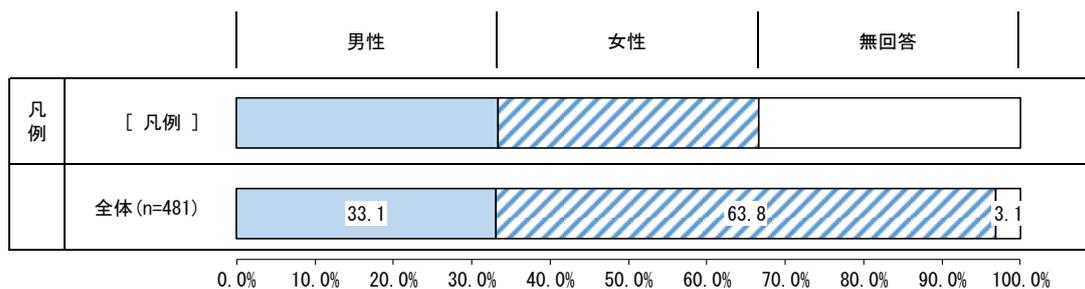
問2 主な介護者の方は、どなたですか。

- 主な介護者の続柄について、「子」が47.0%で最も多く、次いで「配偶者」が35.3%、「子の配偶者」が11.2%となっています。



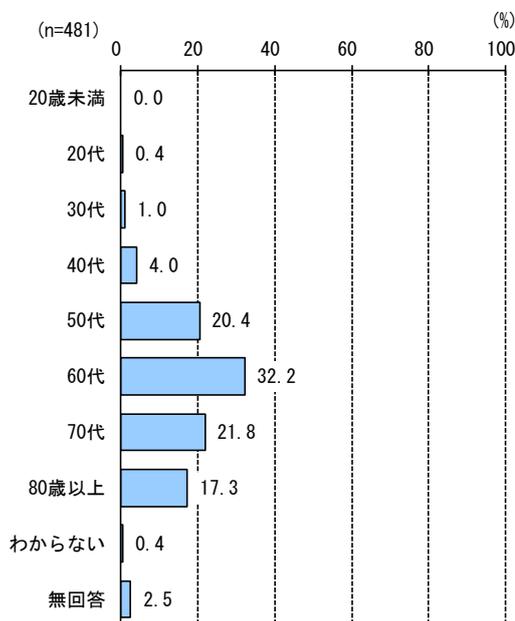
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

○ 主な介護者の性別は、「男性」が33.1%、「女性」が63.8%となっています。



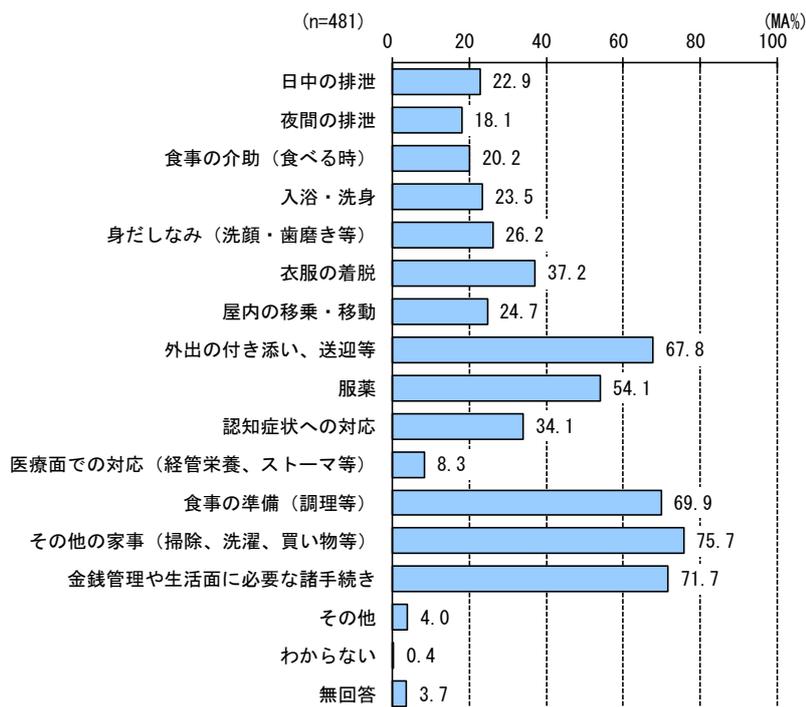
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

○ 主な介護者の年齢は、「60代」が32.2%で最も多く、次いで「70代」が21.8%、「50代」が20.4%となっています。



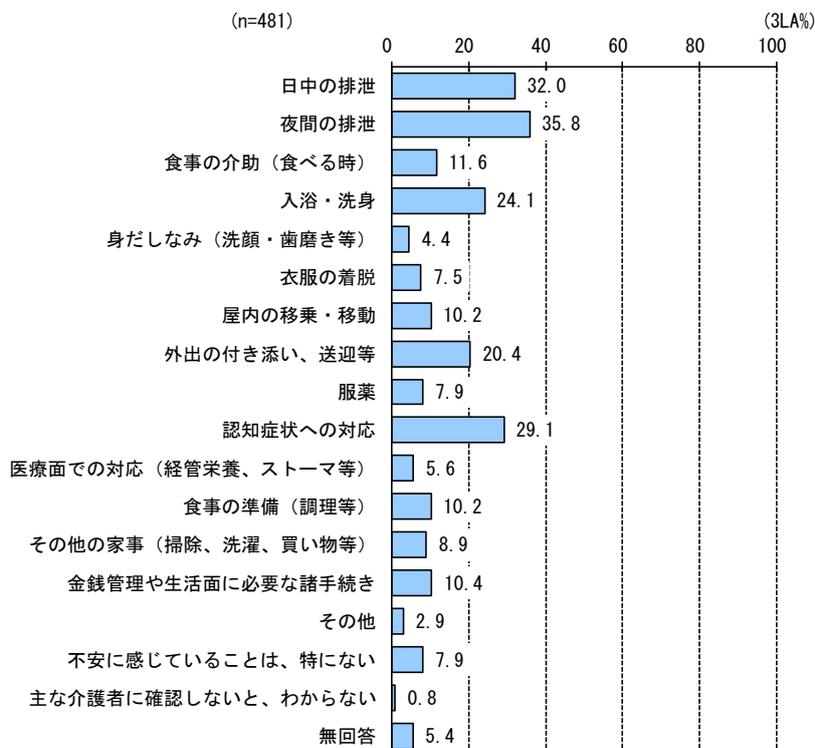
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

○ 主な介護者からの介護の内容について、「その他の家事」が75.7%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な手続等」が71.7%、「食事の準備」が69.9%となっています。



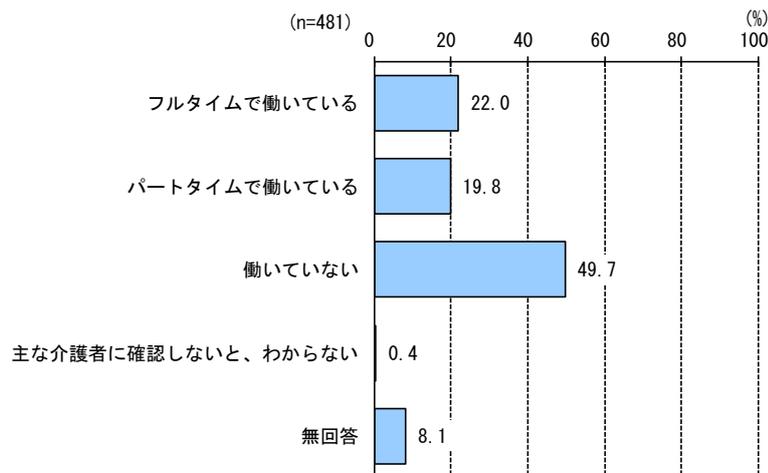
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。

○ 主な介護者が不安に感じる介護について、「夜間の排泄」が35.8%で最も多く、次いで「日中の排泄」が32.0%、「認知症状への対応」が29.1%となっています。



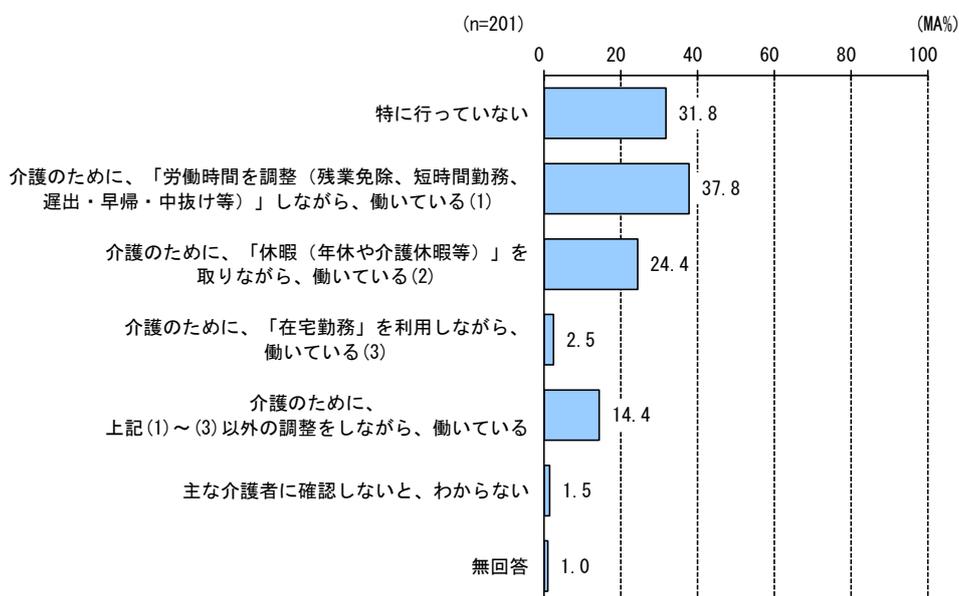
問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

- 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が49.7%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が22.0%、「パートタイムで働いている」が19.8%となっています。
- 就労している介護者は41.8%となっています。



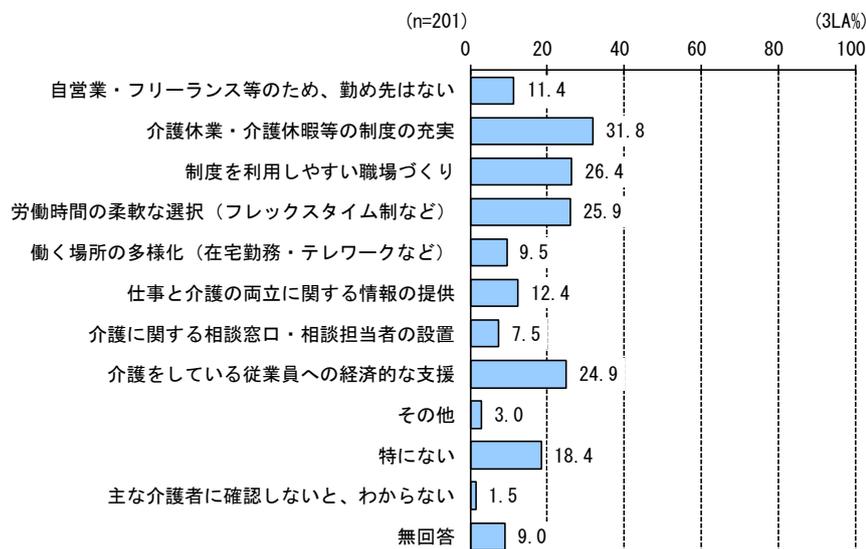
問8 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

- 介護のための働き方の調整について、「『労働時間を調整』しながら、働いている」が37.8%で最も多く、次いで「特に行っていない」が31.8%、「『休暇』を取りながら、働いている」が24.4%となっています。
- 何らかの調整をしながら働いていると回答した人は、65.7%となっています。



問9 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

- 仕事と介護の両立に効果のある支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.8%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が26.4%、「労働時間の柔軟な選択」が25.9%となっています。
- 「介護をしている従業員への経済的な支援」の選択も約4人に1人と多くなっています。



問10 問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

- 今後の就労継続の可否について、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.2%で最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が15.4%、「問題なく、続けていける」が11.4%となっています。
- 「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた“続けていける”は66.6%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“難しい”は26.3%となっています。

